

# 東松山戯曲賞 募集要項

舞台芸術によるまちづくりプロジェクト第1弾



主催 公益財団法人東松山文化まちづくり公社

プロデューサー/理事長：石田義明

事業統括：塚越茂

制作：鈴木和幸・中山智恵

制作補：石川まい子・岩崎達也・沖田瑠璃子

共催 東松山市教育委員会

協力 彩の国さいたま芸術劇場

後援 埼玉県・埼玉県教育委員会・東松山市・公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

朝日新聞さいたま総局・NHK さいたま放送局・FM NACK5

共同通信社さいたま支局・埼玉新聞社・産経新聞社さいたま総局

時事通信社さいたま支局・テレ玉・東京新聞さいたま支局

日本経済新聞社さいたま支局・毎日新聞さいたま支局・読売新聞さいたま支局

助成 一般財団法人地域創造

beyond2020 認定事業

東松山市まち・ひと・しごと創生認定事業

宣伝デザイン 櫻井印刷所

宣伝写真撮影 比企ビデオクラブ

※募集要項に変更のある場合はHP上にて告知いたします。

お問い合わせ

〒355-0017

埼玉県東松山市松葉町1-2-3 東松山市総合会館1階

公益財団法人東松山文化まちづくり公社 平成家族物語事務局

平日9:00～17:00 TEL 0493-24-6080 FAX 0493-24-9909

<http://www.pac.or.jp> e-mail: [hfs@pac.or.jp](mailto:hfs@pac.or.jp)



NHK さいたま放送局

テレ玉



一般財団法人 地域創造  
Japan Foundation for  
Regional Art-Activities

公益財団法人  
東松山文化まちづくり公社



beyond  
2020

## ～平成家族物語～舞台芸術によるまちづくりプロジェクト第1弾

## 『東松山戯曲賞』 選定委員紹介



### 岩崎 正裕

(いわさき・まさひろ)

劇作家・演出家・劇団太陽族代表・アイホールディレクター。

劇団での活動のほか、平成21年度公共ホール演劇ネットワーク事業(『どくりつ　こどもの国』)で作・演出・アウトリーチ講師を務める。また、各地で戯曲塾講師や演劇ワークショップ講師、プロデュース公演・市民参加舞台の作・演出を手掛けるなど、舞台芸術普及活動を幅広く展開している。

1997年『ここからは遠い国』で第4回OMS戯曲賞大賞を受賞。その他、大阪市咲くやこの花賞、兵庫県芸術奨励賞など受賞歴多数。2014年『それからの遠い国』が平成26年度(第69回)文化庁芸術祭優秀賞を受賞。2017年、一般財団法人地域創造が公共ホール等活性化支援事業として行う公共ホール演劇ネットワーク事業『とおのものけやしき』の作・演出として東松山市でも公演を行う。また、本事業の地域交流プログラムとして、市内高校演劇部を対象としたワークショップを開催し、講師として参加。



©重松美佐

### 桑原 裕子

(くわばら・ゆうこ)

KAKUTA主宰。作・演出を兼ね、俳優としては結成以後ほぼ全作品に出演。教育テレビ『中学生日記』『時々迷々』NHKラジオシアター、映画『ランプリングハート』、ドラマ『温泉丸秘大作戦16』などを執筆。近藤芳正プロデュース『パンダラコンチャ』の演出、道学先生『あつ苦しい兄弟』脚本、トムプロジェクト『熱風』脚本、演出、2010～2013年『ピーターパン』の潤色・作詞・演出、演劇集団・円『朽ちるままに』作・演出を務めた。女優としても長塚圭史演出『冒した者』、白井晃『ペール・ギュント』、渡辺えり『鯨よ！私の手に乗れ』、福田充則『俺節』に出演するなど多方面で活躍の場を広げている。

2007年KAKUTA『甘い丘』で岸田國士戯曲賞に初ノミネート、同作の再演で2009年に第64回文化庁芸術祭・芸術祭新人賞(脚本・演出)を受賞。2011年『往転』の脚本が鶴屋南北戯曲賞・岸田戯曲賞の候補、2014年8月の劇団公演『痕跡』が第18回鶴屋南北戯曲賞受賞。昨年12月に上演した『荒れ野』が第5回ハヤカワ悲劇喜劇賞受賞。2018年4月より穂の国とよはし芸術劇場PLAT芸術文化アドバイザー就任。

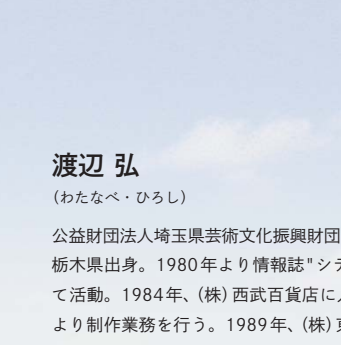


### 岩松 了

(いわまつ・りょう)

長崎県出身。劇作家、演出家、俳優。1986年東京乾電池「町内シリーズ三部作」を皮切りに作・演出を手がけ、1989年『蒲団と達磨』で岸田國士戯曲賞を受賞。以後、数多くの作品を世に送り出す。1993年『こわれゆく男』、『鳩を飼う姉妹』で紀伊國屋演劇賞個人賞、1998年『テレビ・デイズ』で読売文学賞を受賞。1990年代からはテレビドラマや映画の脚本家・監督など活躍の場を広げ、俳優としてもテレビドラマ、映画、舞台に多数出演。

近年の主な作・演出作品に、『ジュリエット通り』『水の戯れ』『宅悦とお岩～四谷怪談のそのシーンのために～』『青い瞳』『結びの庭』『家庭内失踪』『シブヤから遠く離れて』『少女ミウ』、蛭川幸雄演出作品では『シブヤから遠く離れて』(2004年)『船上のピクニック』(2007年)『ルート99』(2011年)を書き下ろした。2017年、さいたまゴールド・シアターに書き下ろした『薄い桃色のかたまり』で第21回鶴屋南北戯曲賞を受賞。



### 渡辺 弘

(わたなべ・ひろし)

公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団　業務執行理事兼事業部長

栃木県出身。1980年より情報誌"シティロード"の編集など演劇ジャーナリストとして活動。1984年、(株)西武百貨店に入社し銀座セゾン劇場の開業準備、1987年開場より制作業務を行う。1989年、(株)東急文化村に入社しBunkamura開業準備に携わり開場後はシアターコクーンの運営、演劇制作を行う。2003年より長野県松本市のまつもと市民芸術館の開業準備に携わり、開場後はプロデューサー兼支配人として運営、制作業務を行う。2006年10月より(財)埼玉県芸術文化振興財団に移り現在に至る。

## 平成家族物語

## この企画にあたって…

東松山市は、自然豊かな里山があり、それでいて東京へ一時間ほどで行ける、いわば都心のベッドタウンである。戦後の東京集中に伴う宅地開発が進み、昭和から平成にかけて人口が増加し、現代もそれは続いている。

平成31年4月30日をもって、平成という一時代の幕が下りる。

平成家族物語という企画は、この時代を生きてきた私たちが感じたこと、家族の姿を、東松山市をはじめとする大都市周辺の街が舞台となる作品を選び、またそれを上演することにより、来るべき新たな時代を考えていこうとするものである。



## 募集要項

### 1.応募規約

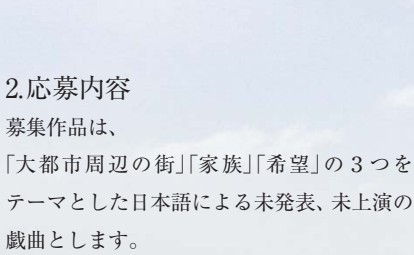
○ 一人一作品に限ります。

○ 年齢、性別、国籍等は一切問いません。

○ 他の戯曲・小説・映画などから引用した場合は、その作品名を明記してください。

○ 著作権に関して、1年間は主催者に帰属します。作品を広く知っていただきたいという思いから、受賞作品は選評を含め小冊子にして発行いたします。

○ 受賞作品は、平成30年度より3ヶ年にわたり、朗読劇、演劇、音楽劇として上演する予定です。上演にあたり、作者と協議のうえ、加除・変更を行うことがあります。なお、受賞作品の著作権は原著者(作者)に帰属します。



### 2.応募内容

募集作品は、「大都市周辺の街」「家族」「希望」の3つをテーマとした日本語による未発表、未上演の戯曲とします。

### 3.応募書類

表紙(3部)

・作品タイトルと作者名を記載

あらすじ(3部)

・「作品の概要、あらすじ」を800字以内にまとめて、応募作品に添付してください。

戯曲(3部)

・400字詰め原稿用紙(縦書、A4サイズ)で、150枚以内とします。

・パソコン原稿の場合は、A4サイズに20字×20行(縦書)で150枚以内とします。

・読みにくい漢字には必ずルビを付けてください。

・原稿とはじ、本文には左下にページ番号を入れてください。

プロフィール(1部)

・氏名(ペンネームの方は本名も)、住所、電話番号、e-mailアドレス、生年月日(年齢)。

※作品は送付又は持参してください。
※お預かりした個人情報、事務局にて適切に管理し、賞の選考および事務局からの案内・連絡以外の目的には使用いたしません。
※応募作品は一切返却いたしません。

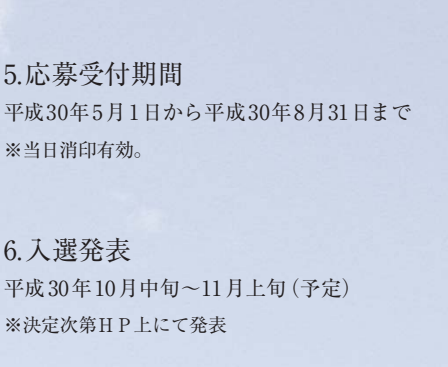
### 4.応募先

〒355-0017

埼玉県東松山市松葉町1-2-3 総合会館1階

公益財団法人東松山文化まちづくり公社

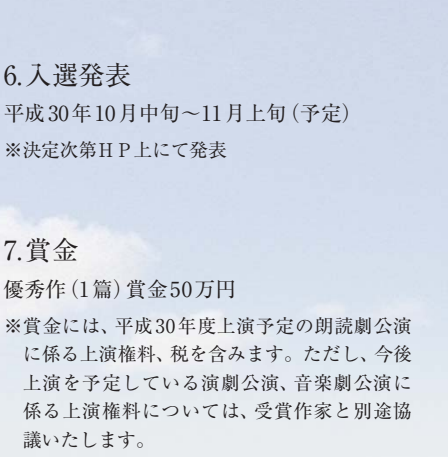
平成家族物語事務局



### 5.応募受付期間

平成30年5月1日から平成30年8月31日まで

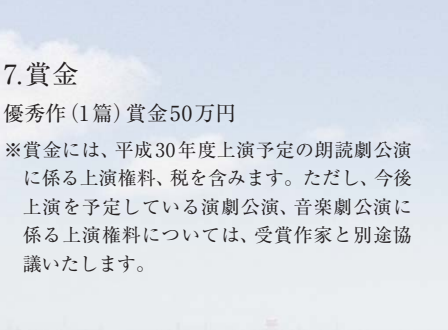
※当日消印有効。



### 6.入選発表

平成30年10月中旬～11月上旬(予定)

※決定次第HP上にて発表



### 7.賞金

優秀作(1篇)賞金50万円

※賞金には、平成30年度上演予定の朗読劇公演に係る上演権料、税を含みます。ただし、今後上演を予定している演劇公演、音楽劇公演に係る上演権料については、受賞作家と別途協議いたします。